

2023年3月期第3四半期 決算説明会 Q&Aサマリー

Q1: 3Qにモバイルの売上が低下した市場的な背景を教えてください。

A1: 世界的なインフレでスマホの買い控えが起きており、それが、スマホメーカーの開発用設備投資を遅らせる要因となっています。

Q2: 通信計測の年間の受注計画についても変更したのか教えてください。

A2: 通信計測の年間の受注計画は売上計画と同じく、780億円から730億円に変更しています。

Q3: 来期の業績を見るうえで、それぞれの地域でどういう動きを期待しているのか教えてください。

A3: 来期は米国オペレーターの5G-SAに向けた投資や、アジア、特に中国でのコロナの収束に伴う設備投資の回復やIoTを中心とした5G利活用領域での投資増を期待しています。

Q4: 今回の価格転嫁の効果について教えてください。

A4: 価格転嫁によって、部材や人件費のコストアップをカバーできると考えています。

Q5: 為替感応度について教えてください。

A5: 通信計測事業において、対米ドルで1円の円安により、営業利益を年間約1億円押し上げる効果があります。